

主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

メッセージ 7

神の建造のために神聖なロマンスの中に生きて、三一の神を命として経験する

聖書：雅 1:2-4, 4:4, 12-15, 6:4 前半, 7:11-12

- I. 聖書は、最も純粹で、最も聖なる意味で、宇宙的な夫婦のロマンスです。キリストにある神は花婿であり、神の贖われた民は花嫁です——ヨハネ3:29, マタイ25:6, 啓19:7, 21:2, 22:17:
- A. 聖書はこの神聖なロマンスについての啓示全体であり、雅歌はこのロマンスの要約された形式です。
 - B. 雅歌の主題は、卓越した結婚における愛の歴史です。それは個人の信者とキリストとの愛に満ちた交わりについての進展する経験を啓示しています——1:2-3。
 - C. 雅歌は、詩の形式における驚くべき、鮮明な描写であり、花婿としてのキリストと彼の花嫁としての愛する者との間の新婚の愛についてです。
- II. 命はパーソン、キリストご自身であり、彼を愛する以外にこのパーソンを享受する方法はありません——マルコ12:30, 雅1:2, 4, 7-11:
- A. 主に対するわたしたちの愛の始まりは、彼のパーソンのビジョンです。わたしたちは主を新しく知ることなしに、また彼の新しいビジョンなしに前進することはできません——使徒 26:14-19, II コリント 4:6-7, ピリピ 3:8-10 前半, 13, 参照、申 4:25。
 - B. わたしたちと主との関係は個人的で、愛情深く、秘密の、霊的なものである必要があります。主とのそのような関係は、わたしたちに彼の定められた御旨のために彼を愛させ、わたしたちを召会生活の中へと導きます。召会生活において、わたしたちは三一の神で構成されることによって造り変えられ、成就されて、キリストのからだを建造し、新エルサレムを究極的に完成します——エペソ 4:11-12, I コリント 3:12 前半。
- III. わたしたちが主の美しさによって引き付けられて彼を愛した後、征服されるという唯一の学課を学ばなければなりません——雅1:9-11, 4:4:
- A. 雅歌は意志が征服されることについて語っています——1:10, 4:1, 4。
 - B. 第4章4節において、キリストを愛する者は彼に対して服従する意志を持つことにおいて美しいのです（ダビデの塔のような首）：
 1. 首は神の下にある人の意志を表徴します。主はわたしたちの意志の服従が最も美しいことであると考えます。
 2. まずわたしたちの意志が服従されなければなりません。それから、それは復活において強くなり、ダビデの塔、霊的戦いのための武器倉のようになります——4節。
 3. キリストを愛する者は彼女の天然の意志から出て来ました。そして今や彼女

は敵に反対する復活させられた意志において立っています——エペソ 6:10-11, 13。

IV. 召会生活は神の園、神の農場です。それはわたしたちが神の増し加わりによって成長し、神の豊富をもって造り変えられて、神の建造となるためです——雅4:12-15. 創2:8. コロサイ1:10. 2:19. Iコリント3:9. 啓22:1-2. 参照、出25:31-32 :

A. わたしたちがキリストを享受するのは、キリストの享受のためです。主はわたしたちにとってすべてであり、それによって主はわたしたちからのすべてを享受することができます——雅 1:12-14. 4:12-14. 5:1。

B. この園において、生ける水の源泉、泉があります。父なる神は源泉であり、子なる神は泉であり、霊なる神は流れる水流です。それはわたしたちが新エルサレムとなるためです—— 4:15. ヨハネ 4:14 後半。

V. テルザとエルサレムは神の聖なる所、神の住まいを表徴します。その周りには神の聖なる都があり、その保護となります——雅 6:4 前半 :

A. キリストを愛する者が神と一となって神の住まいとなると、彼女は神の目に、美しいことテルザのようであり、愛すべきことエルサレムのようです。

B. キリストを愛する者は復活の中でキリストの昇天の中に生きることを通して、キリストの命の豊富において円熟します。それによって、彼女は神の建造、すなわち、神の聖なる所、またその保護となります——参照、創 2:8-12, 18-24. Iコリント 3:9-12 前半。

C. キリストを愛する者は彼の復活を経験した後、幕の内側にある至聖所の中で、すなわち、天的な聖なる所の奥の間の中で生き、キリストの昇天を経験します——雅 4:8。

D. わたしたちは最上の愛をもって主を愛することによって、三一の神の中へと合併されて、彼の住まいとなります——啓 2:4. ヨハネ 14:20-21, 23. エペソ 3:17 :

1. 神の中にある愛が、わたしたちと結合し、ミングリングし、合併する切望を神に与え、わたしたちの中にある同じ愛が、神と結合し、ミングリングし、合併する切望をわたしたちに与えます—— 1 ヨハネ 4:19, 8, 16。

2. わたしたちは最上の愛をもって主を愛することによって、また神聖なロマンスのあらゆる面にあずかることによって、新エルサレム、すなわち、拡大された至聖所となります——雅 1:2-3. 2:14. 4:8. 6:4 前半. 啓 21:9-10。

E. 神の聖なる所となることは、その計り知れない豊富をもってキリストの命において成長することにおいて建造されて(キリストのからだの建造と関係がある)、円熟へと至ることです——エペソ 4:12-16 :

1. 旧約において、神の建造はテルザとエルサレムによって予表されます。新約において、それは有機的なキリストのからだです—— 16 節。

2. からだの建造は有機的であり、わたしたちの命における成長と円熟にかかっています—— 15 節。

3. 究極的に、有機的なキリストのからだ、すなわち、キリストの妻 (5:25-32) をこのように建造することは、新エルサレム、すなわち、至聖所の究極的完

成である聖なる都、神と彼の贖われた者たちの永遠にわたる相互の住まいを究極的に完成します——啓 21:2-3, 16, 22。

F. わたしたちは主と共に彼のからだのために共に働く必要があります——雅 7:11-12. エペソ 4:16 :

1. 働きはからだは成長において伸展することです——使徒 13:1-2。
2. からだは神の子供たちの生活と働きを支配する法則です——エペソ 1:22-23. I コリント 12:4-6, 12-13, 27。
3. わたしたちの中での三一の神の働きは、キリストのからだを生み出し建造することです——エペソ 3:16-21. 4:4-6, 12, 16。